



バッテリーアナライザー (プリンター内蔵)

BA-1200D



この度は BA-1200D バッテリーアナライザー (プリンター内蔵) をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に内容品の確認及び、使用時における注意事項をよく読んでご理解の上ご使用をお願い致します。

安全上のご注意 ※必ずお守りください。

- よく換気した場所で使用してください。バッテリー周辺に滞留した水素ガスなどがワニ口を接続する際の火花で引火、爆発する恐れがあります。
- 手やワニ口などが濡れた状態で本製品を使用しないでください。事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。
- ガソリン・オイルなどの可燃性のものの周辺や法令で第一類、第二類危険箇所指定されている場所では使用しないでください。火災や引火・爆発の原因となります。
- バッテリー液が不足した状態で使用しないでください。燃焼や爆発の原因となります。
- 本製品を接続した状態で車を走行させないでください。事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。
- 使用中、排気部などのエンジンの高温部分に触れないように注意してください。火傷の原因となります。
- 使用中、手や手袋、衣装などがエンジンのベルトなど回転部分に巻き込まれないように注意してください。けがの原因となります。
- ケーブルの被膜が破けた状態で使用しないでください。火災や感電の原因となります。バッテリー液が目に入ったり、皮膚や服に付着しないように注意してください。失明やけがの原因となります。
目に入った場合は、ただちに水でよく洗い流し、医師の診断を受けてください。
- バッテリー端子をよく確認して、ワニ口を正しく接続してください。逆接続すると故障の原因となります。
- 本体画面表示部分を叩いたり、強く押したり、キズを付けたりしないでください。画面表示部の故障、破損の原因となります。
- 小さいお子様の手の届かない場所での使用、保管をしてください。事故やけが、感電の原因となります。

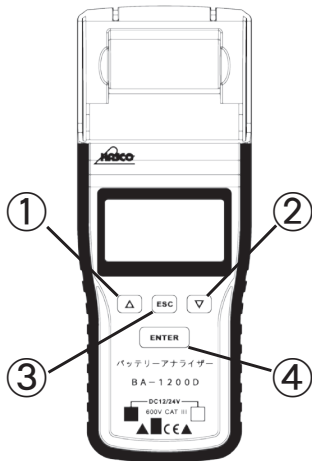
取り扱いについて

- エンジンオイル、ガソリン、不凍液およびバッテリー液を本体に付着させないでください。本体表面の変質の原因となります。
- アルコールを含む液体で本製品を拭かないでください。割れの原因となります。
- 気温 0℃～50℃、湿度 80%以下の環境でご使用ください。正確な測定ができません。
- ケーブルの被膜が破れた場合にはショートのおそれがありますので、ご使用を中止して修理を依頼してください。
- テスト終了後は本機のワニ口クリップをバッテリー端子から速やかに外してください。

保管について

- 専用ケースに入れて保管してください。
- 下記の場所には保管しないでください。
 - ・水の掛かるところ
 - ・強い衝撃が加わるところ
 - ・気温 -20℃以下、60℃以上、湿度 90%以上のところ
 - ・結露のあるところ
 - ・直射日光のあたるところ

ボタンスイッチの説明

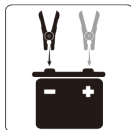


①		カーソルを上に移動
②		カーソルを下に移動
③		戻る
④		決定、次に進む

日時の設定、変更方法

1

+



本機の ESC ボタンを押し続けた状態でワニ口をバッテリーに接続してください。

2

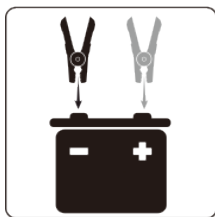


本機のディスプレイが左記の表示となり、変更したい項目を選び、上下の矢印ボタンで変更し、ENTER ボタンで次の項目に進めます。修正したい場合は ESC ボタンを押してください。

表示ディスプレイがバッテリーテスターとなれば日時設定（変更）終了です。

取り扱いに関して

1

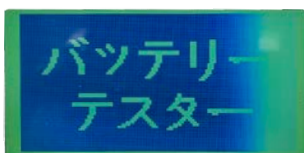


本機のテスターのワニ口クリップは、バッテリーの+端子へダイレクトに接続してください。

黒色のワニ口クリップは、バッテリーの-端子へ**ダイレクト**に接続してください。（ブースターケーブル等で延長はできません。）

※逆に接続すると故障の原因となります。

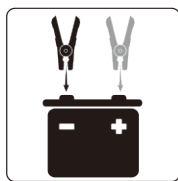
2



接続が完了しますとディスプレイは、バッテリーテスターと表示されます。下記2つのテスト機能から1つのテストを上下の矢印ボタンで選択して ENTER ボタンを押して決定してください。

バッテリーテスト

1



テストするバッテリーに本機赤色のワニ口を + 端子に接続し、黒色のワニ口を - 端子へ接続します。ディスプレイには「ハスコバッテリーテスター」の表示後、バッテリー電圧と 12/24V を選択する画面が表示されますが必ず 12V を選択して ENTER ボタンを押してください。

※ DC24V 車のバッテリーテスト時は必ずバッテリーを1個ずつ (DC12V) でテストをしてください。DC24V のまま (2 個接続状態のまま) でテストを行うと正しいテストが行えません。
※逆に接続すると故障の原因となります。

2



上下ボタンで「バッテリーテスト」を選択し ENTER ボタンを押します。もしバッテリーの電圧が低すぎる時は「電圧:低下」の表示、または本機が反応しません。これはバッテリーの電圧が低すぎてテストができない状態になっている表示です。テストを続行する場合はまずそのバッテリーを充電してからテストを行ってください。

3



車の全てのスイッチ (イグニッションスイッチ、電気機器のスイッチ) を OFF にしてください。ディスプレイにはバッテリーの規格が表示されますので、上下ボタンで規格を選択してください。

※国産車の場合は「JIS」を選択してください。
※外国車の場合は車輛のバッテリーに「CCA」「DIN」「EN」の記載がありますので記載されている規格を選択してください。

4



容量の設定をします。
JIS の場合はカーソルで型番を選択してください。
CCA、DIN 等の他の規格の場合、値を入力してください。

5



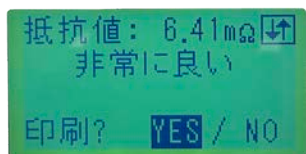
下の矢印ボタンを押してディスプレイに「ENTER を押してテスト開始」表示後 ENTER ボタンを押してバッテリーテストを実行すると、ディスプレイにはテスト結果が表示されます。



充電状態：電圧 (V) バッテリーの測定電圧
(電圧が低すぎる時は「充電後再テスト」と表示されます)
健全性：CCA バッテリーが持つ固有の「性能基準値」
抵抗値：mΩ 「バッテリーの内部抵抗値」(低い値ほど良い状態です)

バッテリーの健全性・現状結果

バッテリーの状態	現状結果	アドバイス
80% 以上	最良	最高
80 ~ 60%	良	良好
60 ~ 45%	注意	近々新品と交換推奨
44% 以下	要交換	即交換



6



テスト結果の印刷は表示画面の「印刷? YES/NO」を左右の矢印ボタンで「YES」を選択して ENTER ボタンを押すとナンバープレートの入力画面になります。
車体のナンバープレートの番号を入力し、ENTER を押すとテスト結果が印刷されます。

システムテスト (I) スターターテスト

1

1. バッテリーテスト
2. システムテスト

テストするバッテリーに本機赤色のワニ口をプラス端子に接続し、黒色のワニ口をマイナス端子へ接続します。ディスプレイには「ハスコバッテリーテスター」の表示後、バッテリー電圧と 12V/24V を選択する画面が表示されるので、左右の矢印ボタンで選択して ENTER を押してください。

- ※ DC24V は必ずバッテリーが2個接続状態のままテストを行ってください。
12V でテストを行うと正しいテストが行えません。
- ※ DC12V は必ず 12V を選択してください。24V でテストを行うと正しいテストが行えません。DC24V の際は必ず 24V を選択して下さい。
- ※逆に接続すると故障の原因となります。

2

負荷 (電装品) オフ
エンジンを始動

ディスプレイには「負荷 (電装品) をオフ、エンジンを始動」と表示されますので車輛の全ての電装品を OFF にしてエンジンを始動させてください。

- ※先にエンジンを始動させるとテストが始まりません。

3

クランキングボルト
24.85V 正常

エンジン始動後テストが直ちに始まり、ディスプレイにはテスト結果が表示されません。12V 車の場合、電圧が 8.0V 以上 (24V 車の場合は 16.0V 以上) であればクランキングボルトは正常と診断されます。もし電圧が既定の値未満であれば、クランキングボルトは低電圧と診断されます。

- ※全てのテスト終了時、各配線およびアース接続、スターター本体のチェックをしてください。

ENTER ボタンを押すとディスプレイの表示は次の充電テストの表示になります。

- ※エンジンを始動した状態で充電テストの手順へ進んでください。

システムテスト (II) 充電テスト

1

充電テスト
<ENTER> を押す

ディスプレイには「充電テスト< ENTER >を押す」と表示されていますので、ENTER ボタンを押してください。

2

必ずすべての
負荷 (電装品) オフ

ディスプレイには「必ず全ての負荷 (電装品) オフ」と表示されていますので車輛の全ての電装品がオフになっているかを確認して (エアコン、ルームランプ等) ENTER のボタンを押すと充電テストが始まります。

ディスプレイにはオルタネーターのアイドリング時の電圧が表示されます。

12V 車の場合、充電電圧が 15.0V 以上 (24V 車の場合は 30.0V 以上) の場合はオルタネーターのボルトレギュレーター不良が考えられます。

また充電電圧が既定の値以下の場合は接続不良、アース不良、オルタネーター不良が考えられます。

※各配線およびアース接続、オルタネーターのベルト、プーリー、接続配線、コネクタ部を調査してそれぞれに異常がなければオルタネーターの本体不良が考えられます。

ENTER ボタンを押すとディスプレイの表示は次の負荷テストの表示になります。

※エンジンを始動した状態で負荷テストの手順へ進んでください。

システムテスト (Ⅲ) 負荷テスト

1

負荷 (電装品) をオン
・エンジン始動後
2500rpm
<ENTER> を押す

ディスプレイには「負荷 (電装品) をオン、エンジン回転数を 2500rpm にして <ENTER> を押す」と表示されますのでエアコン、ヘッドライト、ルームランプ等、車両の電装品を全てオンにして ENTER のボタンを押してください。

2

オルタネーター
負荷電圧
28.21V 正常

ディスプレイにはオルタネーター負荷時電圧が表示されています。12V 車の場合、最大負荷電圧が 12.8V 以上 (24V 車の場合は 25.6V 以上) であれば良好と診断されますが、最大負荷電圧が既定の値未満であれば不良と診断されます。

※各配線およびアース接続、オルタネーターのベルト、プーリー、接続配線、コネクタ部を調査してそれぞれに異常がなければオルタネーターの本体不良が考えられます。

テスト終了
負荷 (電装品) オフ
エンジン停止
印刷? YES / NO

ENTER ボタンを押すとディスプレイの表示は

「テスト終了 負荷 (電装品) オフ エンジン停止

印刷? YES/NO」の表示になりますのでテスト結果を印刷する場合は YES を選択し、ENTER ボタンを押してください。

ENTER を押すとナンバープレートの入力画面になります。

本機のディスプレイが左記の表示となり、上下の矢印ボタンで値を変更し、ENTER ボタンで次の項目に進めます。修正したい場合は ESC ボタンを押してください。

ボタンで車体のナンバープレートの番号を入力し ENTER を押すとテスト結果が印刷されます。

NO を選択して ENTER を押すと、テスト結果が印刷されずディスプレイ表示が最初に戻ります。

車両全ての電装品をオフにしてエンジンを止めてください。

※車両の接続配線等进行检查する場合は必ずエンジン停止後に行ってください。
※もう一度テストをやり直したい場合はエンジンを止めて、スターターテストから始めてください。

ナンバープレート

27-11

メンテナンス

プリンター用紙の交換方法。

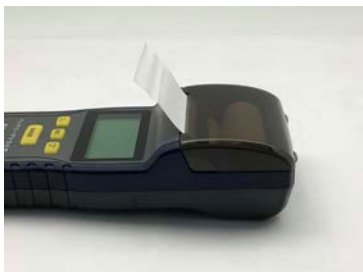
※ロール紙は専用ロール紙（型式：BA-1200D-01）をご使用ください。

1



プリンターのカバーを掴み、
持ち上げカバーを開けてください。

2



専用ロール紙を下図の向きにセットしてください。
ふたを閉めるときは用紙を挟むようにしてください。

発売元：株式会社 ハスコ

サービス部 〒 351-0012 埼玉県朝霞市栄町 3-6-45
TEL (048)461-0101 FAX (048)461-1177
URL <http://www.hascotools.co.jp>